

ごあいさつ

ザ・シンフォニカは、大学を卒業したての新米社会人と学生を中心に『良い音楽をやりたい』と、1986年に発足しました。現在、メンバーは20代から40代、年齢も職業も幅の広い構成の、『良い音楽』への思いが益々盛んな、少し大人の演奏集団となりました。

今回は、いつもザ・シンフォニカの新たな可能性を引き出して下さる指揮者・山下一史先生と、日本を代表するソプラノ・大倉由紀枝先生をお迎えして演奏します。この素晴らしい先生方と同じステージに立てることは、団員にとって、大きな喜びです。

会場に足を運んでくださる皆様と、素敵な時間を分かち合えますことを、団員一同、心より願っております。

<http://symphonica.infoseek.ne.jp/>



ザ・シンフォニカ The Symphonica



山下一史 指揮 Kazufumi Yamashita / conductor

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝する。

1985年12月からヘルベルト・フォン・カラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントをつとめ、86年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急遽、急病のカラヤンの代役として、ジーンズ姿のまま「第9」を指揮し、話題となった。その成功以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約、以後、デンマーク放送交響楽団、ライナス交響楽団、ソングダーランド交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者をつとめた。1998、1999年にはスウェーデンの名門、マルメ交響楽団の定期公演に出演した。

日本国内では1988年「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮してデビューを飾り、以後、国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。現代作品の演奏にも定評があり、1996年日本音楽コンクール作曲部門の指揮において審査員特別賞を受賞した。大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスでは2001年夏のモーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》公演以来、《魔笛》《フィガロの結婚》、レオンカヴァルロ《道化師》、松村禎三《沈黙》、ベルク《ヴォツェック》など本格的なオペラ・プロジェクトへの意欲に満ちた取り組みが高く評価されている。2002年4月よりオペラハウス管弦楽団常任指揮者を務める。



大倉 由紀枝 ソプラノ Yukie Ôkura / soprano

国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。第13回民音コンクール第1位受賞。イタリアに留学。透明な声質を持ちながら力強さも備えた希有な才能に恵まれている。新国立劇場・二期会共催公演『アラベッタ』のタイトル・ロール、2003年7月二期会＝ケルン市立歌劇場共同制作『ばらの騎士』元帥夫人と相次いでR.シュトラウスの大役を演じる。コンサート活動では、小澤征爾指揮マーラー「交響曲第2番」、ペーター・シュライヤー指揮ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、N響「第九」のソリストを務める。国内外の著名な指揮者やオーケストラと数多く共演しており、実力と華を兼ね備えた日本を代表するソプラノの一人である。二期会会員

ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲

変奏曲と名の付く作品はたくさんありますが、管弦楽のための「変奏曲」の中でも最も親しまれ、内容も充実した1曲といえるでしょう。ブラームスは変奏曲を好み、たくさん作曲しています。この曲の完成(1873年40歳)を通じて自分のスタイルにある種の確信を得たブラームスは、この後、4つの交響曲を完成させました。主題はハイドンの木管のためのディベルティメントの2楽章からとり、主題と8つの変奏・終曲から構成されています。きっと、一度聴いたら讚美歌的な美しい旋律が忘れられなくなることでしょ

R.シュトラウス：四つの最後の歌

リヒャルト・シュトラウスがヘルマン・ヘッセ他の詩「春」「9月」「眠りにつくとき」「夕映え」に付曲し、最晩年に完成させた作品です。80余年の生涯の間に、麗麗な管弦楽曲やオペラ、精緻な室内楽、親しみやすい歌曲等、あらゆるジャンルに亘って数多くの作品を残した作曲家が辿り着いた、枯淡の境地です。わが国を代表する名ソプラノ・大倉由紀枝さんの独唱にもご期待ください。

プロコフィエフ：交響曲第5番

第二次世界大戦中の1944年(独ソ戦においてソヴィエトが最も苦境に立たされていた頃)に、作曲開始からわずか2ヶ月で完成されました。初演は翌1945年1月、レニングラードからドイツ軍が撤退した後、勝利に沸くモスクワでプロコフィエフ自身の指揮で行われました。「私の長期の創造生活における絶頂を示すもの」と作曲家自身が語ったといわれるこの曲は、バラエティーに富む多量の作品を残したプロコフィエフの代表作であり、最も人気のある作品の一つです。

託児サービス
のごあんない

小さなお子さまを持つ方々にもごゆっくりコンサートをお楽しみいただけるように、開演30分前より託児サービスを設けます。託児料の一部として、2歳以上のお子様おひとりにつき2,000円をご負担いただきます。

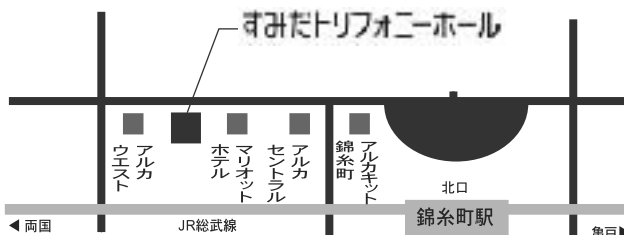
(2才未満のお子様については別途ご相談ください)

ご予約、ご相談は下記までお願いします。

(株)ポピンズコーポレーション tel 03-3447-2100

担当：齋藤

※一週間前まで受け付けますが、定員になり次第締め切らせていただきます。



●JR総武線「錦糸町駅」下車徒歩3分
●地下鉄半蔵門線「錦糸町駅」出口3より徒歩5分
すみだトリフォニーホール 東京都墨田区錦糸1-2-3 TEL.03-5608-5400